

初心者のための Excel 2019

Office 365 を利用しているユーザー用補足資料

「初心者のための Excel 2019」(型番:FPT1902)は、2019年3月現在の Office 2019(ビルド番号 10342.20010)に基づいて、操作手順を掲載しています。この資料は、Office 365(ビルド番号 11629.20192)で学習する場合の操作手順の違いを一覧にしたものです。

【お使いの Office 365 のビルド番号を確認する方法】

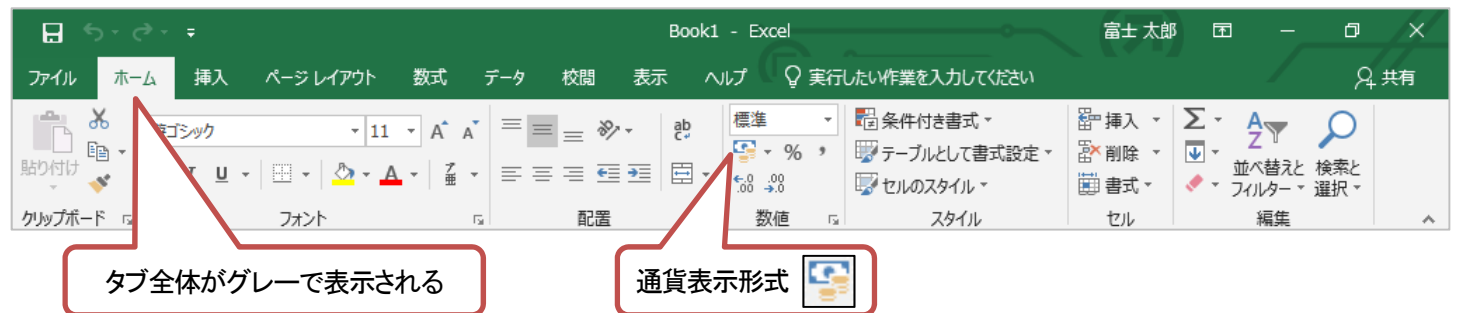
Excel を起動→《ファイル》タブ→《アカウント》→《Excel のバージョン情報》→表示されるダイアログボックスで確認



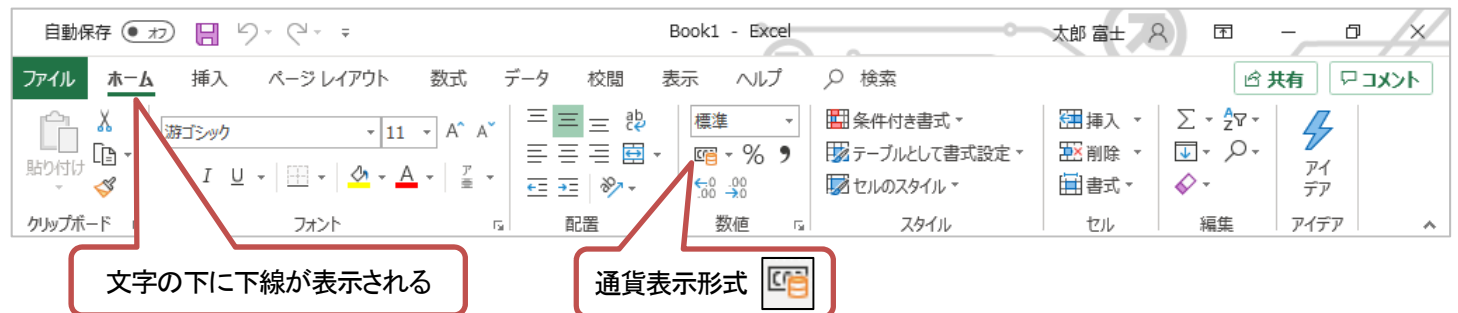
【リボンの違い】

Office 2019 と Office 365 で大きく異なる点として、「リボンの表示」があげられます。リボンに表示されているボタンの見た目や大きさ、配置などが異なります。ボタンの操作は、ポップヒントに表示されるボタン名が同じものを選択してください。




●Office 2019 で《ホーム》タブを選択した状態



●Office 365 で《ホーム》タブを選択した状態



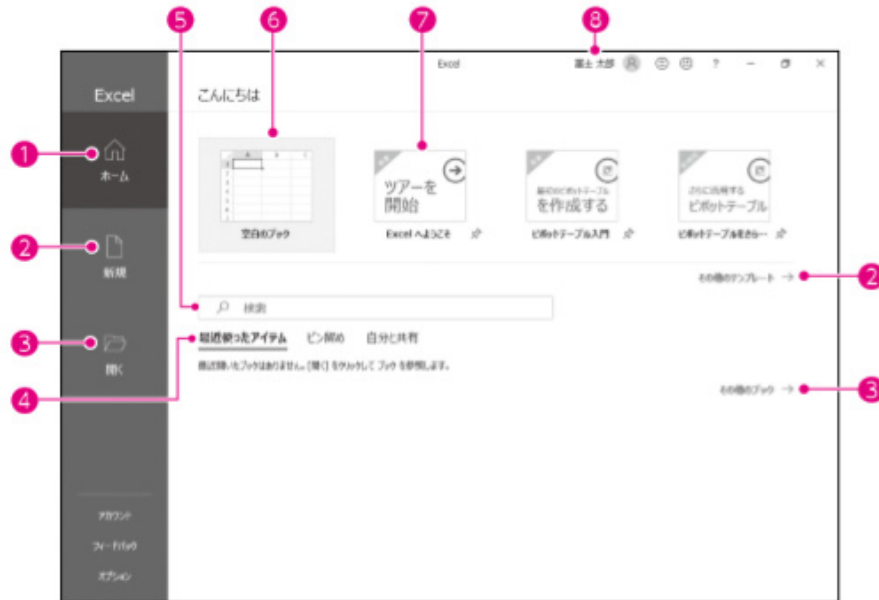
Office 365 をお使いの方は、以下のように読み替えてください。

頁	対象箇所	Office 2019(テキスト記載)	Office 365
P.10	Excel のスタート画面	①～⑦	画面が異なります。各項目については、差し替えページをご参照ください。 差し替えページは、本資料の 3 ページです。
P.11	ブックを開く 操作 ②	他のブックを開く	開く
P.15	Excel の画面構成 ② クイックアクセスツールバー	…初期の設定では、  (上書き保存)、  (元に戻す)、  (やり直し) の 3 つのコマンドが登録されています。	(追加) 3 つのコマンド以外に、自動保存が表示されます。 ※OneDrive に保存したファイルを開くと、自動保存が《オン》になり、編集した内容が自動的に保存されます。
P.25	新しいブックの作成 操作 ②	《空白のブック》	画面の《空白のブック》の位置が異なります。差し替えページをご参照ください。 差し替えページは、本資料の 3 ページです。
P.44	名前を付けて保存 操作 ⑫	タイトルバーにブックの名前が表示されていることを確認します。	タイトルバーにブックの名前と「保存しました」というメッセージが表示されていることを確認します。
P.171	操作アシストを使ったコマンドの実行 操作 ③	《実行したい作業を入力してください》に「グラフ」と入力します。	《検索》に「グラフ」と入力します。
P.173	操作アシストを使ったヘルプ機能の実行 操作 ①	《実行したい作業を入力してください》に「折れ線グラフ」と入力します。	《検索》に「折れ線グラフ」と入力します。

以上

2 Excelのスタート画面

Excelが起動すると、「スタート画面」が表示されます。
スタート画面でこれから行う作業を選択します。スタート画面を確認しましょう。



① ホーム

スタート画面を表示する場合に使います。

② 新規 / その他のテンプレート

新しいブックを作成する場合に使います。
※Excel 2019のスタート画面と同様の画面が表示されます。

③ 開く / その他のブック

すでに保存済みのブックを開く場合に使います。

④ 最近使ったアイテム

最近開いたブックがある場合、その一覧が表示されます。

⑤ 検索ボックス

最近使ったアイテムに表示されているブックを検索する場合に使います。

⑥ 空白のブック

新しいブックを作成します。何も入力されていない白紙のブックが表示されます。

⑦ Excelへようこそ

Excelの基本操作を紹介するブックが開かれます。

⑧ Microsoftアカウントのユーザー情報

Microsoftアカウントでサインインしている場合、その表示名やメールアドレスなどが表示されます。

※サインインしなくても、Excelを利用できます。



POINT サインイン・サインアウト

「サインイン」とは、正規のユーザーであることを証明し、サービスを利用できる状態にする操作です。
「サインアウト」とは、サービスの利用を終了する操作です。

1

2

3

4

5

総合問題

解答

付録1

付録2

索引